



遠大勵志

北上地区合同作品展 【美術・工芸展】

先月 29 日
(火) に会場を
訪れ、参観し
てきました。

たくさんの
作品が展示さ
れていて、生
徒のみなさん
が、どんな思
いを抱いて制

作に打ち込んだのだろうかと思像しながら、作品の一つ一つをじっくりとみて回りました。

本校からは、「可能性」(千葉愛里さん)

「耐寒」(高橋観宇さん)

「強打者」(横澤夏実さん)

「MIRROR」「激情」(小原永莉さん)

「一月」(後藤陽和さん)

の 6 点の出品でした。

ひたむきな制作姿勢が感じられた作品でした。



大学 = 出願先決定

あとは思いの強さを行動に

今日から2月。国公立大学に願書を提出する時期です。先生や保護者と相談し、出願先を決定したからには、あとはそこに合格するためになりふり構わず、大学の指定した二次科目だけを、朝から晩まで取り組むだけです。出願先が D 判定、E 判定でもあきらめないこと。

判定が多少悪くても、憧れの行きたい大学に合格したいと本気で臨んで、その大学への出願を決めたのですから、他の

人以上に一生懸命に準備に邁進するだけです。そこに不必要な感情を入れる必要は一切ありません。



昔、私が担任した生徒の中に、センター試験自己採点后、ある業者の判定がボーダーラインより 100 点以上低い E 判定の生徒がいました。何度面談を繰り返しても、その生徒のある大学への思いは揺るぎませんでした。その出願大学の二次試験は数学と物理でしたので、出願決定後から猛然と数学と物理の基礎基本からやり始め、睡眠の時間を 5 ~ 6 時間取る以外は、二次試験までの約 30 日を数学と物理の勉強に全て費やしました。結果は合格！

その生徒の思い、努力、集中力には頭が下がりました。その生徒が大学生活をエンジョイしたことは言うまでもありません。

二次試験において「何の教科で何点取るべきか」という作戦を立てることも大事です。過去数年の合格最低点を調べ、自分の持ち点であるセンター試験

の得点を除いた二次科目である「○○」の目標点を何点、「△△」の目標点を何点とするか、そのためにはどこの分野をどう攻略するかという作戦です。一人一人がしっかりと考えてみてください。



みなさんの中にはボーダーラインから+30点など、大幅に上回っているA判定をとった人もいるかもしれませんが、大逆転を狙っている全国の仲間がいるのです。決して安心することのないよう、謙虚にひたむきに勉強に打ち込んでほしいと思います。

・あきらめたらいけない！

・出願した…自分を信じて頑張れ！

私立大学を目指す人たちも、受験日が近づいてきました。出願大学で受験する生徒の中には、初めての場所への移動、慣れないホテルでの生活という不安もあるでしょう。しかし、余裕をもって心を落ち着ければ、大丈夫です。体調の管理をしっかりとしたうえで受験に臨んでください。自分の将来につながる扉を、自分の力で、精一杯の努力で、開けて欲しいと切に願います。

後期末考査近づく

ちょうど一週間後に迫った7日から始まる考査について、1年生も2年生も先生方からたくさんのお話をされていると思います。学年の評定を決定する考査です。平常の課題や授業でも熱心に取り組んでいることとは思いますが、試験の準備を怠ることなく、万全の準備をして考査に臨んで欲しいものです。目の前に迫ったことにしっかり向き合うということは、部活動にも役立つこととなります。

目標の設定、その目標実現のための計画立案、それらができたうえで、淡々と実行する力、修正する力、継続する力、集中する力などなど、学習を通して部活動に生かすことのできる力を養えるのです。その反対に部活動で結果を求めたいあるいは出している人は、それを学習に転化できないはずはありません。学習と部活動は、切っても切り離すことのできない表裏一体のものなのですから。

後期末考査(学年最後の試験)へ向けたこのテスト週間は、すべてのことを学習にシフトして、集中できるように頑張ってみましょう！



冬来いなば

春遠からじ

この言葉は、イギリスの詩人 Percy Bysshe Shelley (パーシー・ビッシュ・シェリー)の叙情詩「西風に寄せる歌」の一節にあります。

Make me the lyre even as the forest is:
What if my leaves are falling like its own!
The tumult of the mighty harmonies
Will take from both a deep, autumnal tone
Sweet though in sadness. Be thou, Spirit fierce,
My spirit! Be thou me, impetuous one!
Drive my dead thoughts over the universe
Like withered leaves to quicken a new birth!
And, by the incantation of this verse,
Scatter, as from an unextinguished hearth
Ashes and sparks, my words among mankind!
Be through my lips to unawakened earth
The trumpet of a prophecy! O, Wind,
If Winter comes, can Spring be far behind?

冬来いなば 春遠からじ

辛いことに出会ったとき、私たちはそこから抜け出そうとものが苦しみます。時には先の見えない状況に心を閉ざしたり、諦めに近い感情をもつこともあります。しかし、やがて冬は明け、春がやってくるように、今出会っている辛いことは一つと長く続くわけではありません。春を待つ心を持っている限り、心にシャッターを下ろさない限り、必ず明るい兆しは見えってくるのだと信じています。自分自身がしっかりと前を向いて、努力を続け、さらに一歩を踏み出すだけで、明るい将来が必ず見えてくるはず。明けない夜はないのです。

目の前の「学習・勉強」から目を背けず、頑張りたい！！

